

学 校 名	狛江市立狛江第五小学校
コーディネーター数	1人
ボランティア数	15人

活動の概要

授業時の見守りが必要なクラスへのボランティアと学校の長期閉庁日の飼育生物の餌やり
 ・狛江第五小学校にて、小学1, 3, 4年生への授業見守りサポートを今年度も9月から継続的に実施している。

主に算数の授業や授業態度等が不安定なクラスにおいて、ボランティアがシフトを組みながら毎日の授業の見守りサポートを行う。理解の足りない児童には個別に話しかけたり、授業態度が気になる児童には注意をするなど、個々の児童に合わせたサポートを行っている。

・学校閉庁期間に、ウサギなどの飼育生物の世話をボランティアにより行っている。1日ごとの当番制で、餌やりや掃除等の世話をしている。

コーディネーターの役割

学校のニーズを聞き取り、必要なボランティアのシフトを組んで派遣している（自らもボランティアの一員でもある）。

活動上の工夫や配慮等

既存のボランティア団体の活動を阻害しないよう、通学路の見守り、図書の本の整備と読み聞かせ、花壇や芝生の手入れ、PTAに任されていること等には参入せず、それ以外でのニーズを掘り起こすようにしている。

活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

・夏季長期閉庁日の飼育生物の餌やりなど、他校では当番の児童や巡回の市職員が行う業務をボランティアが行った。

・地域ボランティアが実際に授業に介入して児童のサポートを行うことに対しては、学校が特殊な環境ということもあり、やりづらいと感じる声もあった（ボランティアと児童、学校職員との間に多少の温度差を感じる等）。クラスサポート意見交換会などを通して、ボランティアからの意見に積極的に耳を傾けたり、学校側とのコミュニケーションを綿密に図ることによって、ボランティアと学校とが協力し合いながらより良い形で行えるよう改善を行っている。